

市川市立南行徳小学校放課後保育クラブ増設修繕
仕 様 書

この仕様書は、発注者が発注する下記の業務に関して、受注者が当該業務を履行するために必要な事項を定めるものとする。

- 1 件名 市川市立南行徳小学校放課後保育クラブ増設修繕
- 2 施工場所 市川市欠真間1丁目6番38号
- 3 施工期間 契約日の翌日 ～ 令和8年1月13日
- 4 担当課 市川市教育委員会 学校教育部 学校地域連携推進課
住所：市川市南八幡2-20-2
電話：047-383-9419（直通）

5 仕様

本紙および別紙「市川市立南行徳小学校放課後保育クラブ増設修繕 詳細仕様」とその添付図面、修繕内訳書を参照するものとする。

また、別紙、添付図面、修繕内訳書における数量、単位等は予定数量のため、本修繕における詳細な数量、単位、寸法等については、協議し、決定するものとする。

なお、修繕内訳書において、メーカー指定品に関しては、同等品の使用を可とする。

6 業務実施日及び業務時間

- (1) 業務実施日 施工期間内
- (2) 業務時間 午前8時から午後5時まで

7 留意事項

- (1) 修繕に際しては、安全に留意し十分な危険防止処置を施し、無事故・無災害に努めること。
- (2) 疑義が生じた場合には、担当課職員と協議すること。
- (3) 発生材の処分を含むものとする。
- (4) 修繕所要日数、金額に差が生じない範囲の中で、使用時の利便性を考慮し、整備取付位置が変更になる場合がある。
- (5) 車両の出入、資材の搬入、作業に際し、必要に応じて監視員、誘導員等を配置し安全確保に努めること。監視員と誘導員は監督者が兼ねても構わない。

8 提出資料

- (1) 着工届、施工計画書、工程表、緊急連絡体制表
- (2) 完了届
- (3) 作業日報（報告書）
- (4) 施工写真

9 施工条件

- (1) 作業時間は、担当課および施工先学校と調整の上決定するものとし、契約から着工までの間に予定されている日程調整のための打ち合わせに参加すること。
- (2) 学校内での作業となることから、授業の妨げとなるような作業の実施は、学校休業日や業間休み、昼休み、放課後など学校運営の支障のないよう調整すること。
- (3) ケーブル配線等は安全のため、作業または技術的に問題ない限り上方に設置すること。
- (4) 施工先および周辺の破損防止のため、作業や資材搬入の程度に応じた養生を行うこと。
- (5) 修繕内容に変更が生じた場合には、担当課職員と協議すること。
- (6) 修繕に起因して不具合が生じた場合には、作業をすみやかに中止し、担当課職員に報告するとともに、受注者の責任において復旧すること。

10 安全管理

- (1) 児童の安全を最優先に配慮し、作業にあたること。
- (2) 作業区域はコーン等での間仕切り等を設置するなどし、児童にも分かるように明示化すること。
- (3) 車両の出入、資材の搬入、作業に際し、必要に応じて監視員、誘導員等を配置し安全確保に努めること。監視員と誘導員は監督者が兼ねても構わない。
- (4) 無事故・無災害に努めること。

11 完了検査

施工期間内に完了届と共に全ての書類が提出された日から10日以内に完了検査を受けなければならない。（指摘事項がある場合には速やかに対応すること）

12 施工写真

修繕に際し施工前・必要行程毎・完成の写真を撮影し報告書と共に提出すること。

13 化学物質濃度測定

修繕に際し完成時の壁・床等の化学物質濃度測定を行い、報告書に結果を記載し提出すること。

1 4 その他

- (1) 発注者は、受注者の業務履行状況を不適当と認めた場合は、その理由を明示し業務の改善を受注者に求めることができる。
- (2) 受注者は、業務の履行に伴って事故が生じた場合には、直ちに発注者及び所轄警察署その他関係機関に報告するとともに応急処置を講ずるものとする。
- (3) 受注者は、この業務の履行に当たり、発注者又は第三者に損害を及ぼした場合は、発注者の責に起因する事由による場合を除いて、その損害賠償の責を負わなければならない。
- (4) 受注者は、業務の履行上知り得た秘密を第三者に漏らしてはならず、かつ、他の目的に使用してはならない。契約終了後も同様とする。
- (5) 業務の履行に当たっては、労働基準法その他関係法令を遵守しなければならない。
- (6) 受注者は、施工材料等の品質管理を行わなければならない。
- (7) この仕様書に定めのない事項及び疑義の生じた事項は、発注者と受注者がその都度協議の上、決定するものとする。

市川市立南行徳小学校放課後保育クラブ増設修繕

詳細仕様

1 換気扇

- (1) 換気扇 1 基を新規で設置すること。

2 LED式照明

- (1) 既存照明はLED式照明と交換すること。
- (2) 交換した既存照明は撤去すること。

3 インターホン

- (1) インターホンは別添図「南行徳小学校保育クラブ室修繕レイアウト」で示した位置に施工し、高さは床面から約 1, 5 0 0 mm とする。
- (2) 設置する機種は、カメラ付き、モニター付きのものとする。
- (3) 屋外機は、ボタンを押した際にライトが点灯するものとする。
- (4) インターホンの室外側機械は、放課後保育クラブ室の外壁に設置すること。

4 コンセント

- (1) コンセントは別添図「南行徳小学校保育クラブ室修繕レイアウト」で示した位置に施工する。(冷蔵庫用 1 ヲ所、電気温水器用 1 ヲ所、他 1 ヲ所)
- (2) コンセントの口数は別添図「南行徳小学校保育クラブ室修繕レイアウト」で示した数とする。
- (3) 床面からの設置高さは、約 1 0 0 ～ 4 0 0 mm 程度とする。
- (4) 既設コンセントの点検調整を行うこと。

5 電気温水器

- (1) 電気温水器は、壁掛け式 1 4 リットルタイプとする。
- (2) 電気温水器の稼働に必要な電源は、専用配線を施工して確保すること。
- (3) 窓側に寄せて設置する。
- (4) 電気温水器への給水は、流し台に向かって窓側寄りの給水系統を分岐すること。
- (5) 必要に応じて分電盤の改修を行うこと。

6 水道流し台(別添写真【水道流し台】参照)

- (1) 別添図「保育クラブ室修繕レイアウト」で示した位置に、流し台を新規設置する。
- (2) 給排水管は既存流し台の位置を目安とする。
- (3) 水道流し台(以下：流し台)は、W：1, 5 0 0 mm、D：5 0 0 ～ 6 0 0 mm 程度、シン

ク底面の高さはH：400mmとし、蛇口は3口とする。

- (4) 流し台の淵はH：650mm、背面と左右両脇の面には淵からの高さがH：250～300mm、厚みが10mm程度の水のはね除け板を備えているものとする。
- (5) 電気温水器と支障しない蛇口に対して、背面壁に鏡を2枚設置する。鏡は、W：300mm、H：350mm程度のものとする。
- (6) 設置時に生じる壁との隙間などはコーキングで埋めること。
- (7) 設置後の給排水の点検を含むものとする。
- (8) レベル調整を行い、水がシンクやはね除け板を伝って流し台の外へ回ってくることの無いようにすること。必要に応じて、淵から再度シンク内に水を戻すための簡単なストッパーなどを設けること。
- (9) 水漏れ等がないか確認をすること。

7 クッションフロア（以下：CF）

- (1) 床の不陸調整を行い、断熱対策としてタスクレイシート（5mm厚程度のもの）を敷いた上に、CFシートを施工すること。
- (2) CFシートは、床全面に敷設すること。
- (3) 敷設するCFシートは、茶色の木目調とし、厚みは2.5mm～4mm程度のものとする。

8 扉

- (1) 既存の扉をそのまま使用するため、戸車やレールの調整を行う。
- (2) 内鍵のある鍵に交換をすること。
- (3) 鍵を1本複製すること。

※ 1日平均200回程度、児童が開閉することを想定すること。

9 塗装

- (1) 室内全面の壁、梁、天井、扉を塗装する。
- (2) 塗色はアイボリー系の色味のものとする。
- (3) 塗装前の塗装箇所の清掃、下地補修を必要に応じて行うこと。

10 着替え用カーテン

- (1) 着替えカーテンは別添図「南行徳小学校保育クラブ室修繕レイアウト」で示した位置に設置すること。
- (2) 着替え用カーテンレールはV字支持金物で天井より吊り下げたものとする。
- (3) 着替え用カーテンレールの高さはH：2,000mm以上とする。
- (4) 着替え用カーテンは、床面から浮き上がる高さが20mm程度とする。

11 窓カーテン及びカーテンレールの設置

- (1) カーテンレールはダブルにし、防炎タイプ及びレースカーテンの2種類を設置すること。
- (2) カーテン丈は窓の縦寸法に対して原則プラス100mm程度とする。ただし、床面の高さまで窓ガラスの扉部分（ベランダ掃き出し窓）のカーテンは、床面からの高さが20mm～50mm程度浮くような寸法とすること。

12 網戸

- (1) 網戸は、アルミパネル化した窓以外のすべての窓に対し設置すること。
- (2) スライドが可能なようにレールを設置すること。

13 窓調整

- (1) 戸車、レール、パッキン、ビートを調整すること。
- (2) 窓の清掃を行うこと。

14 荷物かけフック(別添写真【荷物かけフック】参照)

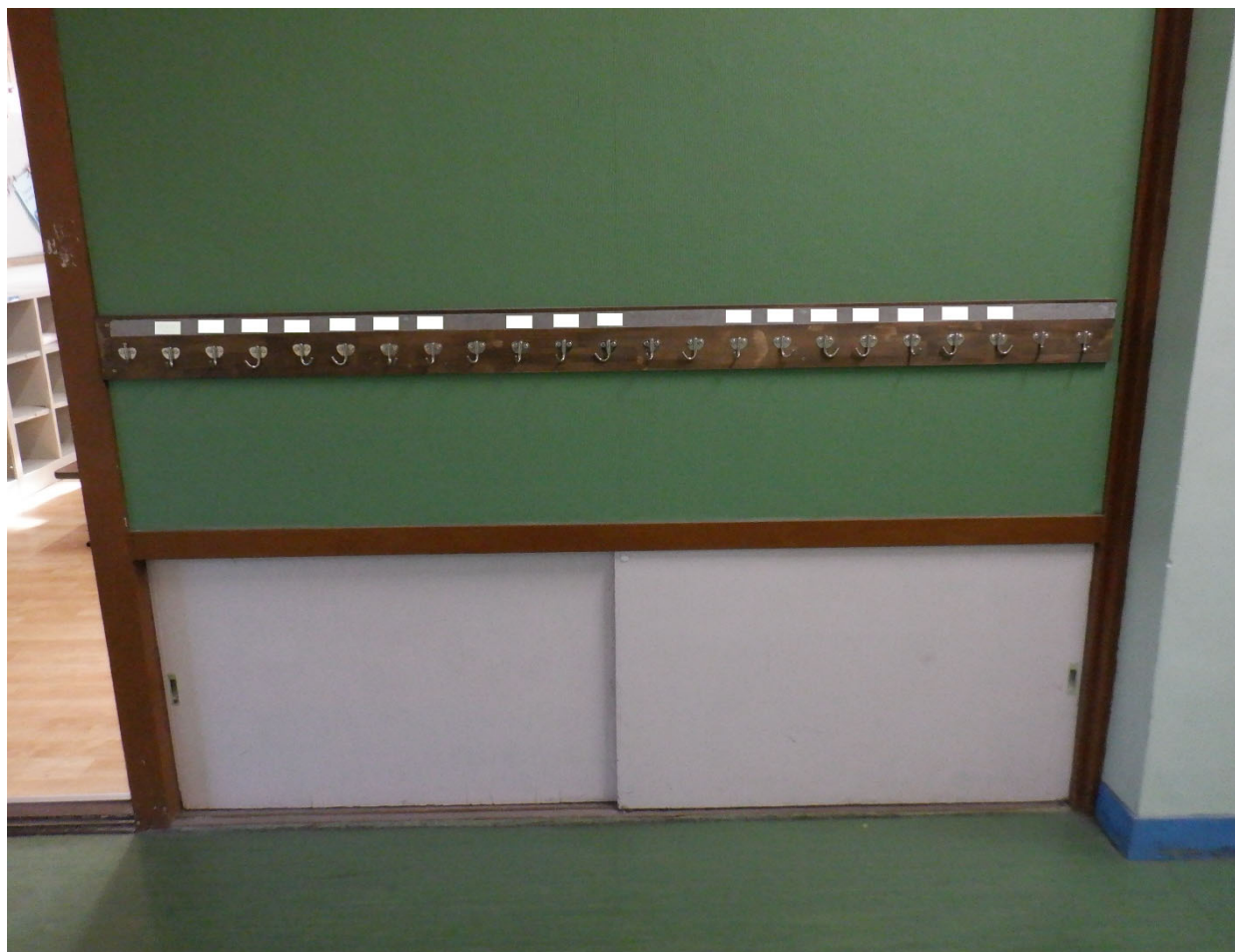
- (1) 廊下に荷物かけフック26人用のものを2つ設置するものとする。

別添写真 【水道流し台】



- ① W1500mm、D500mm、H650mm（シンク底面）、650mm（シンク淵）程度の大きさのものとする。
- ② 水道台は上の写真のようなイメージである。蛇口間の距離は 400mm程度とする。
- ③ 背面と左右両脇の面は、背面の流し台パネルと同様の素材で、同じ高さの水はね防止の板を設置すること。

別添写真 【荷物かけフック】



- ① W2050mm、H102mm程度の大きさのものを柱を挟んで2箇所設置すること。
- ② 荷物かけフック土台の底面は床から820mm程の高さに設置すること。
- ③ フックは約90mm間隔で1箇所あたり26個設置すること。

別紙 修繕内訳書 南行徳小学校放課後保育クラブ増設修繕

No. 1

※本修繕において、メーカー指定品に関しては、同等品の使用を可とするもの

コンピュータ室

名 称	摘 要	数 量	単 位	備 考
仮設工				
養生費		1.0	式	
片付け清掃費	サッシ・ガラス清掃共	1.0	式	
脚立足場費		1.0	式	
空気測定	修繕後1回	1.0	回	
石綿含有建材事前調査	目視調査（現地調査）	1.0	式	
石綿含有建材分析調査	成分分析	1.0	式	
石綿含有建材事前調査報告	報告書作成共	1.0	式	
撤去工				
既設カーペット撤去	既存カーペット剥し	64.5	m ²	
発生材積込み		1.0	式	
発生材運搬費		1.0	式	
発生材処分費		1.0	式	
内装工				
カーテンレール新設	W:3,700	2.0	箇所	
カーテン新設トレープ、レース	W:3,700×H:1,050	2.0	箇所	
V吊りカーテンレール新設	W:1,800+W:1,550 カーブレール	1.0	箇所	
V吊りカーテン新設	W:1,800+W:1,550×H:1,900	1.0	箇所	
下地処理	材工	64.5	m ²	
新規発泡層長尺シート張り	t=2.8+タスクレイシートt=3.0 床下地調整共	64.5	m ²	
接着剤	東リ USセメント 材工	3.0	缶	
出入口金物取付	W:2,000程度 SUS製	2.0	箇所	
煙突点検口塞ぎ		1.0	式	
内装材搬入費		1.0	式	
建具工				
出入口引き違い戸鍵交換		2.0	箇所	
網戸設置	W:910×H:1,150	3.0	枚	
同上施工費	採寸原調共	3.0	枚	
設備用窓アルミパネ設置	W:870×H:650	1.0	箇所	
荷物掛けフック取付		2.0	箇所	
塗装工				
壁下地処理	パテ補修、シーラー塗布	53.0	m ²	
壁塗装	梁含む EP-G	53.0	m ²	
天井下地処理	パテ補修、シーラー塗布	64.5	m ²	
天井壁塗装	梁含む EP-G	64.5	m ²	
カーテンボックス	水性木部下塗り+EP-G	1.0	式	
巾木	水性木部下塗り+EP-G	1.0	式	
建具枠	水性木部下塗り+EP-G	1.0	式	
電気設備工				
インターホン工				
モニターホン	録画機能付	1.0	セット	
配線材料	AE0.9-2C	1.0	式	
配線材料	VV-F1.6-2C	1.0	式	
配管材料		1.0	式	
同上付属品		1.0	式	
同上支持材		1.0	式	
各種ボックス類		1.0	式	
雑材消耗品		1.0	式	
電工労務費		1.0	式	
躯体貫通費		1.0	式	
コンセント工				
埋込接地ダブルコンセント	プレート共	2.0	箇所	
配線材料		1.0	式	
配管材料		1.0	式	
同上付属品		1.0	式	
同上支持材		1.0	式	
各種ボックス類		1.0	式	
雑材消耗品		1.0	式	
電工労務費		1.0	式	

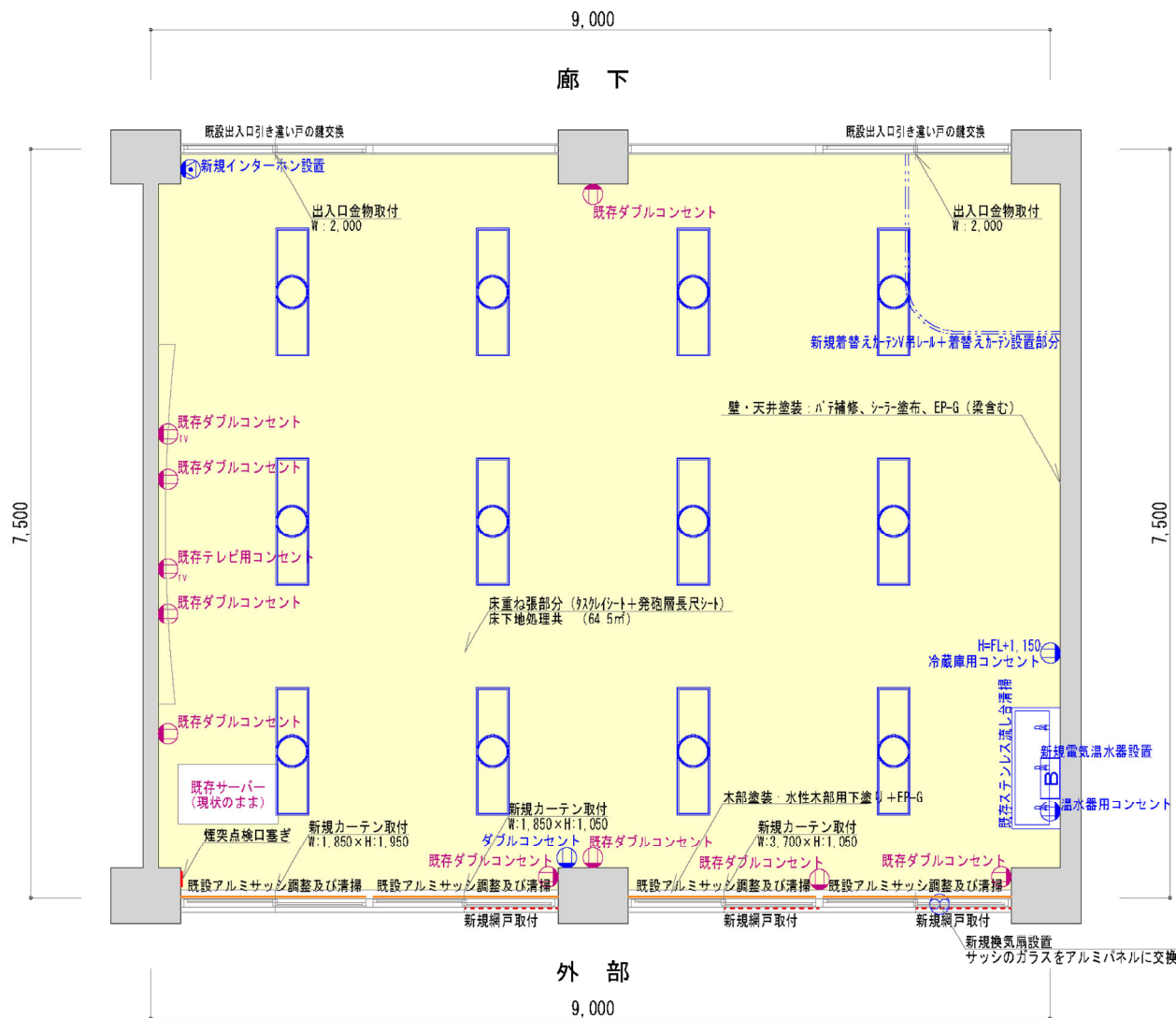
別紙 修繕内訳書 南行徳小学校放課後保育クラブ増設修繕

No. 2

※本修繕において、メーカー指定品に関しては、同等品の使用を可とするもの

コンピュータ室

名 称	摘 要	数 量	単 位	備 考
専用コンセント工 配線材料 配管材料 同上付属品 同上支持材 ブレーカー 配線器具 雑材消耗品 電工労務費 躯体貫通費 分電盤改修費	電気温水器・IH電源 F2.0-3C	1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0	式 式 式 式 式 式 式 式 式 式 式	
照明器具工 既存機器取り外し LEDベースライト 照明器具支持材 雑材消耗品 電工労務費	埋込器具 埋込型Hf32W×2灯用相当	12.0 12.0 1.0 1.0 1.0	台 台 式 式 式	
電気温水器工 配線材料 配管材料 同上付属品 同上支持材 各種ボックス類 ブレーカー 配線器具 雑材消耗品 電工労務費 躯体貫通費 分電盤改修費	(本体機器は機械設備) P2.0mm-3C PF(22)	1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0	式 式 式 式 式 式 式 式 式 式 式	
換気設備工 換気扇 (25cm 電気シャッター) スイッチ配線 雑材消耗品 電工労務費	ウェザーカバー・防虫網共 電源供給共	1.0 1.0 1.0 1.0	台 箇所 箇所 式	
機械設備工 電気温水器 横水栓 分岐水栓 フレキシブルチューブ 消耗品雑材料 器具取付費	壁掛形 14L EWM-14N 日本トミタ T200ESNR13 C SUS 13A	1.0 3.0 1.0 1.0 1.0 1.0	台 個 個 式 式 式	



《 凡 例 》

- 新規埋込ダブルコンセント設置
- 新規インターホン設置 (1箇所)
- 新規換気扇設置 (1箇所)
- 新規電気温水器設置 (1箇所)
- 新規着替えカーテン吊りレール+着替えカーテン設置部分 (1箇所)
- 既設出入口引き違い戸の鍵交換 (2箇所)
- 既設アルミサッシ調整及び清掃 (3箇所)
- 新規網戸取付 (3箇所)
- 新規カーテン取付 (2箇所)
- 既存ステンレス流し台清掃 (1箇所)
- 床重ね張部分 (タタキシート+発泡断熱シート)
- 既設天井照明器具撤去後新設

計 画 平 面 図 S = 1:50